

2023年度植物工場研修 研修No4

スマートグリーンハウスにおけるキュウリ栽培の理論と実技

第1回		I (8:50~10:20)	II (10:30~12:00)	昼休	III (13:00~14:30)	IV (14:40~16:10)	V (16:20~17:50)
10/11	水				そもそもキュウリとは	ポストハーベスト	
			受付：12:30~(予定) 開講式：12:45~ 挨拶 受講案内		・原産と来歴 ・日本での生産状況 ・栽培方法 ・かっぱランドシステムについて	流通について 加工や業務用への対応	
			千葉大学名誉教授 篠原温		元三菱ケミカルアグリドリーム 稲山光男	千葉大学 櫻井清一	
10/12	木	育苗技術	装置と栽培管理の基本		実習		養液栽培の基礎
		育苗の重要性と良苗 育苗培地の特性 育苗管理の注意点	三菱ケミカルアクア・ソリューションズのシステム かっぱランドシステム 苗テラス など		【栽培管理】 ・播種 ・育苗 ・栽培管理(摘芯・つる下ろし 確認) ・生育診断,調査		・養液栽培とは ・栽培装置 ・給液システム ・培養液管理
		植物工場研究会 布村伊	三菱ケミカルアクア・ソリューションズ 村岡 修一		植物工場研究会 布村伊		千葉大学 塚越寛
10/13	金	生育診断方法の考え方	環境要素の計測と制御技術		キュウリの多収生産技術	病害虫の防除	※第1回は、「まとめ・質疑応答」の時間はありません。 各講義内でご質問ください。
		・生育ステージ別 ・診断後の対応について ・作型と品種	日射と長波放射 被覆資材 暖房、保温、冷房（高温対策）		・キュウリの栽培特性 ・環境制御の考え方 ・多収生産技術と環境制御 収量構成要素、受光量の向上 光利用効率	・病害虫の基礎知識 ・病害虫の防除技術	
		千葉大学 中野明正	東海大学名誉教授 林真紀夫		農研機構 安東赫	千葉大学 宇佐見俊行	
第2回		I (8:50~10:20)	II (10:30~12:00)	昼休	III (13:00~14:30)	IV (14:40~16:10)	V (16:20~17:50)
11/8	水		キュウリで高収量(40 t ~50 t /10a)を実現するための養液土耕栽培		キュウリの品種育成の現状と今後の情勢	JA西三河きゅうり部会のスマート農業への取組	施設園芸の経営
		受付：10:15~(予定)	・日射比例養液土耕栽培 ・環境制御（地上部、地下部） <Web講義>		・品目としてのキュウリの変遷 ・今後目指すべき植物工場養液栽培における品種の方向性	・産地の現状 ・ICTを活用した産地の生産性向上 など	大規模経営で特に問題となる課題、人材育成や組織運営の優良事例紹介、人材育成のためのポイント
			北部九州胡瓜研究会会長 山口仁司		ときわ研究場 竹内伸良	JA西三河きゅうり部会 下村堅二	農研機構 田口光弘
11/9	木	実習			培養液管理	太陽光型植物工場の比較検討（講義と見学）	
		【栽培管理】 ・収穫 ・摘芯 ・摘葉 ・つる下ろし ・接ぎ木 ・生育診断調査 開花節位など			培養液管理による成長コントロール	「ハウス構造」「養液栽培システム」「環境制御」の様式と実際 ※詳細は下記など (ハウス環境モニター説明を含む)	
		植物工場研究会 布村伊			千葉大学 塚越寛	植物工場研究会・千葉大学名誉教授 丸尾達	
11/10	金	研修ハウスの環境制御	生育診断		まとめ・質疑応答	修了式	
		キュウリ研修で見える化した情報をみんなで議論しよう	生育診断：科学的根拠を更に加えてみる		※山口氏(北部九州胡瓜研究会会長)ZOOM参加	~15:00 (予定) 修了証書授与	
		千葉大学 中野明正			講師複数名	千葉大学名誉教授 篠原温	

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします